

勉誠出版

日本史研究会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード: 2fd1ba720e
(使用期限: ~2020年12月31日)

謹啓

秋冷の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 2fd1ba720e (使用期限: ~2020年12月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**(※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本史研究会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



最新刊のご案内

* 表示価格には別途消費税がかかります。
* ISBN は 978-4-585 を省略しています。

歴史

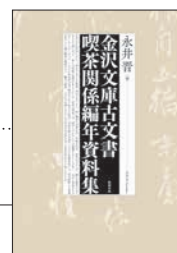
金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井晋[編]

詳細チラシも
ご覧ください

中世東国の茶の歴史をいまに伝える史料が『金沢文庫古文書』のなかに多数存在する。同史料群より貴重史料三〇八通の翻刻と解説を行い、編年で配列、これまで見落とされてきた中世日本の茶をめぐる文化的広がりを明らかにする。

本体 10,000(+税)・A5判上製・376頁・ISBN22288-0・2020年9月刊行



中世日本の茶と文化 アジア遊学 252

生産・流通・消費をとらえて

永井晋[編]

詳細チラシも
ご覧ください

称名寺に伝来した平安から室町までの茶に関する文献史料、各地の美術工芸品や考古資料などの諸資料を丹念に紐解き、考古学・農学・気候史・技術史・遺伝子学など様々な分野の視点なども交え、「茶の湯」「茶道」成立以前の「中世の茶」をとらえ直す。

本体 2,800円(+税)・A5判並製・240頁・ISBN22718-2・2020年9月刊行



挑発する軍記

大津雄一[著]

詳細チラシも
ご覧ください

『平家物語』『太平記』などに代表される「いくさ」を描いた物語は、いまなお、なぜ読まれ、語り継がれていくのか。「死」と「生」の物語のもつ魅力と意義、そして可能性をあざやかに解き明かす。

本体 3,800(+税)・四六判並製・384頁・ISBN22292-7・2020年10月刊行



生きるための地域史 東海地域の動態から

中村只吾・渡辺尚志[編著]

詳細チラシも
ご覧ください

日本列島の中央部に位置し、東日本と西日本をつなぐ東海道という大動脈が走る東海地域にスポットをあて、その地域の社会環境・自然環境と向き合って悩み、選択した人びとの営為を多面的に描き出す。

本体 8,000(+税)・A5判上製・304頁・ISBN22290-3・2020年10月刊行



江戸庶民のまじない集覧

創意工夫による生き方の智恵

長友千代治[著]

詳細チラシも
ご覧ください

疫病、災害、男女関係、不妊、子育て、疾病、寿命…江戸時代出版・書写された資料を博搜、効能別に分類し、240点以上の図版とともに紹介する「まじない」百科事典！

本体 6,000(+税)・A5判上製・392頁・ISBN20076-5・2020年10月刊行



吉田松陰と学人たち

徳田武[著]

詳細チラシも
ご覧ください

幕末の激動する国際状況の中で、学問を追求し、思索し、行動した学人たちとの多彩な交流から、松陰という人物の軌跡と精神の展開とを俯瞰する。日記をはじめとする諸資料を丹念に紐解き、松陰の一生に影響を与えた学人たちとの関係を追尋した快著。

本体 10,000(+税)・A5判上製・560頁・ISBN22291-0・2020年9月刊行



新彰義隊戦史

大藏八郎[編]

詳細チラシも
ご覧ください

彰義隊の歴史、隊士をはじめ、関連人物の人間像、そして映画・演劇・絵画などにおける受容などを幅広く紹介。さらに生存者と子孫の証言や一次資料、関連史料を解析し事実と照合。写真、図版 200 点余を駆使して彰義隊を可視化した永久版！

本体 7,000 円 (+税)・B5 判上製・550 頁・ISBN22285-9・2020 年 10 月刊行



ロマノフ王朝時代の日露交流

東洋文庫・生田美智子[監修]／牧野元紀[編]

三〇〇年にわたるその栄枯盛衰の歩みには日本との重厚な交流の歴史があった。江戸時代以来、日露戦争を経て、ロシア革命前夜まで続いた日露関係の展開を、アジア関連資料の宝庫『東洋文庫』の珠玉の名品とともに探る。図版掲載点数二〇〇点以上！

本体3,800円(+税)・四六判上製・520頁・ISBN22286-6・2020年9月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



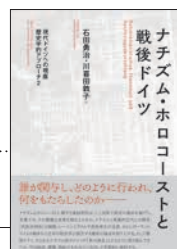
ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ

現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ2

石田勇治・川喜田敦子[編]

ナチズムと両義的近代との関係、「民族共同体」の様態、レーベンスラウムや民族再生の含意、さらにポーランド、スイスの動きなど近年の歴史学が提示する最新の論点を取り上げる。司法訴追、補償、想起の文化などに注目して多面的に検討する。

本体6,000(+税)・A5判上製・384頁・ISBN22513-3・2020年9月刊行



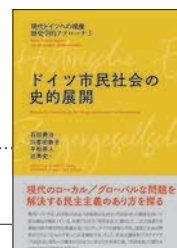
ドイツ市民社会の史的展開

現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ3

石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史[編]

「市民社会」に着目して、これが含意する意味内容の歴史的な変遷を追いつながら、ドイツの国家と市民、国家と社会の関係がどのようなものであったかを検討する。そして、「市民社会」に関する日独比較の可能性も追究する。

本体6,000(+税)・A5判上製・368頁・ISBN22514-0・2020年9月刊行



ポストコロナ時代の東アジア アジア遊学253

新しい世界の国家・宗教・日常

玄武岩・藤野陽平[編]

日本・台湾・韓国・中国・香港は危機にどう対応したか。都市封鎖や各種の自粛措置、メディア戦略、「新しい生活様式」等の各国の政策から、疫病除けの妖怪「アマビエ」の流行、各国の宗教対策まで、メディア・社会・宗教など多様な視点から比較検証。

本体2,800円(+税)・A5判並製・272頁・ISBN22719-9・2020年9月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



仏教の東漸と西漸 アジア遊学251

荒見泰史[編]

さまざまな儀礼や経典、文学、図像を取り上げ、各時代の広い社会層における信仰・宗教の伝播と継承、衝突と融合の実態を東漸と西漸の双方向から考察し、新しい文化史を構築する。

本体2,800円(+税)・A5判並製・256頁・ISBN22717-5・2020年9月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



酔いの文化史 アジア遊学250

儀礼から病まで

伊藤信博[編]

醸造や酒宴の歴史から、食文化とのかかわり、文学・絵画における表象、アルコール依存症など現代的な問題まで、宗教的・社会的機能をもつ飲酒文化について、文学史・美術史・歴史学・食文化史など様々な分野から切り込む。

本体2,800円(+税)・A5判並製・256頁・ISBN22716-8・2020年8月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



司書のお仕事2 ライブラリーぶっくす

本との出会いを届けます

大橋崇行[著] 小曾川真貴[監修]

読めばわかる、司書の世界！！ 司書という職業の日常を、分かりやすいストーリー形式で解説。「除架と除籍」「行政支援レファレンス」等…、専門用語や業務を現役の司書が解説。各章末には仕事にまつわるコラムを附す。

本体1,800円(+税)・四六判並製・207頁・ISBN20075-8・2020年10月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



儒教儀礼と近世日本社会

閩齋学派の『家礼』実践

松川雅信〔著〕

詳細チラシも
ご覧ください

近世日本社会において儒者達は、儒教儀礼、殊に『家礼』記載の喪祭礼をどのように捉え、実践しようとしたか。山崎闇斎を学祖とする閩齋学派に着目、思想と社会とが交錯する現場に立ち入り、従来、見落とされてきた近世日本儒教の新しい一面を照らし出す。

本体10,000円(+税)・A5判上製・440頁・ISBN21056-6・2020年7月刊行



漢学とは何か アジア遊学249

漢唐および清中後期の学術世界

川原秀城〔編〕

詳細チラシも
ご覧ください

現代の人文学の領域を大きく凌駕する漢学のパースペクティブは、どのようにその対象を広げ、如何に事象を記述しようとしたのか。漢唐および清中後期の学術を多角的に分析し、歴代漢学の総覧を通して学的特徴とその限界について考察する。

本体2,800円(+税)・A5判並製・256頁・ISBN22715-1・2020年7月刊行



古代の日本と東アジア 人とモノの交流史

鈴木靖民〔著〕

詳細チラシも
ご覧ください

東アジア諸国は如何に形成され、展開したのか。文献資料、最新の考古学的成果を博搜し、地政学、ヒト・モノ・文化の交流の視点より日本および東アジアの歴史的展開を浮き彫りにする、長年にわたり東アジア古代史研究を牽引する碩学による最新論集。

本体10,000円(+税)・A5判上製・472頁・ISBN22279-8・2020年7月刊行



新羅中古期の史的研究

武田幸男〔著〕

詳細チラシも
ご覧ください

とくに飛躍的な発展を見せた新羅中古期（五一四～六五四年）を中心に考究。陸続と発見された各種の新羅碑文を諸史料とともに精緻に読み込むことにより、当時の激動する東アジアの国際関係における、新羅の史実態とその展開過程を明らかにする。

本体12,000円(+税)・A5判上製・568頁・ISBN22278-1・2020年7月刊行



近世大名墓の考古学 東アジア文化圏における思想と祭祀

松原典明〔編〕

詳細チラシも
ご覧ください

幕藩体制の社会構造、地域の政治・経済・文化・信仰についての歴史的背景を解明するための重要な歴史資料、近世大名墓所を考古学そして文献学の知見より多角的に検討し、近世武家社会における為政者の思想とその実践の諸相を明らかにする。

本体12,000円(+税)・B5判上製・336頁・ISBN22276-7・2020年7月刊行



宋代中国都市の形態と構造

伊原弘〔著〕

宋代は中国の経済、文化が大きく発展した時代である。その結果、都市の構造や人々の生活も変化した。遺された貴重な地図や絵図などの史料を丹念に読み込み、唐と宋のあいだに横たわる画期を描き出す。

本体4,500円(+税)・A5判上製・360頁・ISBN22069-5・2020年7月刊行



書物学 第18巻 蔵書はめぐる

海外図書館の日本古典籍コレクション

編集部〔編〕

欧米の著名なコレクションから、ハワイ大学、ホノルル美術館、アメリカ議会図書館、UCバークレー、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学の特徴ある蔵書を紹介。書物を集め、愛でた人々、海を越えて伝えられた蔵書に秘められたドラマを描き出す。

本体1,800円(+税)・B5判並製・120頁・ISBN20718-4・2019年7月刊行



金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井 晋

〔編〕

従来の茶文化史の
ミッシングリンクを埋める貴重史料
日本の中世社会において、

茶はさまざまな場面で利用されてきた。

特に鎌倉の武家文化・宗教文化は、飲用のみならず、
儀礼や贈答などさまざまな場において、

茶との密接な関係を有してきたが、

従来の研究では、禅宗とのかかわりが強調されることが多く、

充分に考察がなされているとはいえない。

これら中世東国の茶の歴史をいまに伝える史料が

『金沢文庫古文書』のなかに多数存在する。

同史料群より貴重史料三〇八通の翻刻と解説を行い、

編年で配列、これまで見落とされてきた

中世日本の茶をめぐる文化的広がりを明らかにする。

【編者プロフィール】

永井 晋（ながい・すすむ）

神奈川県立金沢文庫主任学芸員、神奈川県立歴史博物館企画普及課長を経て、現在
関東学院大学客員教授。専門は日本史。主要著書に、『金沢貞顕』（吉川弘文館、
二〇〇三年）、『金沢北条氏の研究』（八木書店、二〇〇六年）、『金沢北条氏編年資
料集』（共著、八木書店、二〇一三年）、『源頼政と木曾義仲——勝者になれなかった
源氏』（中央公論新社、二〇一五年）、『平氏が語る源平争乱』（吉川弘文館、二〇一
九年）、『鎌倉僧侶事典』（八木書店、二〇二〇年）などがある。



同時刊行！

永井 晋〔編〕 『アジア遊学252号』

中世日本の茶と文化
生産・流通・消費をとらえて

本体一、八〇〇円（＋税）

A5判並製カバー装・二四〇頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22718-2 C1321

【目次】

カラー口絵
はじめに

翻 刻

解説『金沢文庫古文書』の中世喫茶史料
金沢氏・称名寺喫茶関係資料参考年表

あとがき

索 引

本体 一〇、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装
口絵四頁＋本文三七六頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22288-0 C3021

湛睿書状（国宝金沢文庫古文書より）

書 名	部 数
金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集 永井 晋〔編〕 本体 10,000円（＋税） A5判上製カバー装・口絵4頁＋本文約376頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22288-0 C3021	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

中世日本の茶と文化

生産・流通・消費をとおして

【アジア遊学252】

永井晋【編】

日本の中世社会において、

「茶」はどのように生産され、流通したのか。

また茶・喫茶にかかわる儀礼や文化は

どのように受容され、展開したのか。

称名寺に伝来した平安時代から室町時代までの茶に関する文献史料、各地に残された美術工芸品や考古資料などの諸資料を丹念に紐解き、また、考古学・農芸学・気候史・技術史・遺伝子学など様々な分野の視点なども交え、「茶の湯」・「茶道」成立以前の「中世の茶」をとらえ直す。

同時刊行！

金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井晋【編】

貴重史料三〇八通の

翻刻と解説を編年で配列。

中世日本の茶をめぐる

文化的広がり明らかにする。

本体 一〇、〇〇〇円(＋税)

A5判上製カバー装

口絵四頁＋本文三七六頁

ISBN978-4-585-22288-0 C3021

【編者紹介】

永井晋 (ながい・すむ)

関東学院大学客員教授。専門は日本中世史。主な著書・論文に『金沢北条氏の研究』(八木書店、二〇〇九年)、「鎌倉時代の文章道大業の家——勤める官職と活動の場」(福島金治編『学芸と文芸生活と文学の歴史学 九』竹林舎、二〇一六年)、「武家の棟梁摂津源氏の終焉」(中村文編『歌人源頼政とその周辺』青簡舎、二〇一九年)などがある。

【目次】

序文 鎌倉・室町前期における茶の研究 ● 永井 晋

第一部 ● 称名寺伝来資料に残る茶の世界

国宝・称名寺聖教・金沢文庫古文書の茶関係資料 ● 山地 純

『金沢文庫古文書』が示す鎌倉・房総の茶 ● 永井 晋

「称名寺聖教」に見える「茶」と「茶」 ● 張 名揚

コラム ● 中世都市鎌倉と喫茶文化 ● 大澤 泉

第二部 ● 中世における茶の生産と道具

中世前期の茶の受容 ● 福島金治

抹茶の変容——中世の気候変動と覆い下茶園の成立 ● 沢村信一

中世前期の茶臼 ● 桐山秀穂

建蓋と天目——茶器の種類と名称 ● 岩田澄子

第三部 ● 中世仏教と茶

梅尾茶 醍醐茶の評判——十四世紀高山寺の喫茶文化 ● 芳澤 元

東アジア仏教文化と中世信濃の喫茶

——王慎『農書』の名煎・末茶・蠟茶に基づく考察 ● 祢津宗伸

茶としての茶——榮西・性全・忍性・叡尊 ● 岩間眞知子

コラム ● 中世鎌倉の喫茶——建長寺境内の発掘調査成果から ● 宮田 眞

コラム ● 仏教美術と茶——羅漢図に見る喫茶文化 ● 米沢 玲

第四部 ● 地方の茶

中世武蔵国の慈光茶——銘柄の形成とその風味 ● 小田部家秀

出土遺物からみた中世寺院と茶

——伊豆国円成寺跡の出土遺物から ● 池谷初恵

コラム ● 称名寺領下総国下河辺庄赤岩郷周辺に残る在来 ● 佐々木清匡

コラム ● 史跡河越館跡から出土した喫茶関連資料 ● 平野寛之

第五部 ● 室町時代の茶

室町社会における巡事と茶寄合 ● 白川宗源

コラム ● 花はさかりに、月はくまなきのみ見るものは ● 橋本 雄

本体 二、八〇〇円(＋税)

A5判並製カバー装・二四〇頁

二〇二〇年九月刊行

ISBN978-4-585-22718-2 C1321

書 名	部 数
中世日本の茶と文化——生産・流通・消費をとおして 【アジア遊学No.252】 永井晋【編】	本体2,800円(＋税) A5判並製カバー装・240頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22718-2 C1321
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

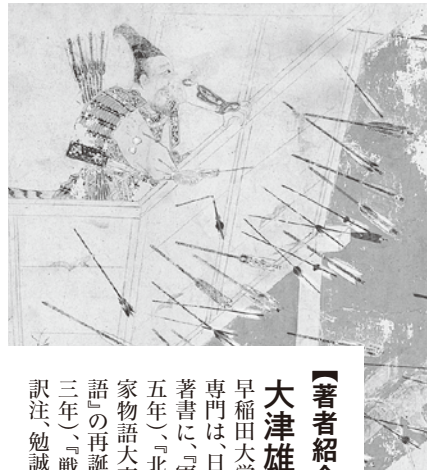
FAX●03-5215-9025

挑発する軍記

大津雄一〈著〉

「暴力」と「愛」と――

「いくさ」を描く物語は
なにを我々に伝えてくれるのか
大量の血と首、首のないむくろ、
切り落とされた手、切腹して折り重なる死骸。
愛のために生き、
そして死んでいった親子や夫婦、主従たち。
『平家物語』『太平記』などに代表される
「いくさ」を描いた物語は、
いまなお、なぜ読まれ、語り継がれていくのか。
「死」と「生」の物語のもつ魅力と意義、
そして可能性をあざやかに解き明かす。



【著者紹介】

大津雄一（おおつ・ゆういち）

早稲田大学教育・総合科学学術院教授。
専門は、日本中世文学。

著書に、『軍記と王権のイデオロギー』（翰林書房、二〇〇五年）、『北条五代記』（共著、勉誠出版、一九九八年）、『平家物語大事典』（共編、東京書籍、二〇一〇年）、『平家物語』の再誕――創られた国民叙事詩（NHK出版、二〇一三年）、『戦国武将逸話集 訳注『常山紀談』（全四巻、共訳注、勉誠出版、二〇一〇～二〇一八年）などがある。

【目次】

はじめに

第一部 ● いくさの表象

- 第一章 軍記と暴力
- 第二章 『平家物語』という祝祭
- 第三章 いくさと少年たち

第二部 ● 愛の表象

- 第一章 『平家物語』の語る愛
- 第二章 残された女の物語

第三部 ● 知の様相

- 第一章 慈光寺本『承久記』は嘆かない
- 第二章 『太平記』の「知」

第四部 ● 英雄の誕生

- 第一章 野蠻と純朴
- 第二章 時勢と英雄

第五部 ● 教室の『平家物語』

- 第一章 何のために？

――『平家物語』群読の危うさ――

- 第二章 『平家物語』に惚れさせない

おわりに

初出一覧

索引



後三年合戦絵詞

出典: ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

書 名	部 数
挑発する軍記 大津雄一【著】	部
本体三、八〇〇円(+税) 四六判並製カバー装・三八四頁 二〇二〇年十月刊行 ISBN978-4-585-22292-7 C1021	
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.<http://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

生きるための地域史

東海地域の動態から

中村只吾・渡辺尚志〔編〕

中近世日本、人びとは「生きる」ために、
何を考え、どのように行動したのか――

日本列島の中央部に位置し、東日本と西日本をつなぐ
東海道という大動脈が走る東海地域にスポットをあて、
その地域の社会環境・自然環境と向き合つて悩み、
選択した人びとの営為を多面的に描き出す。

【編者略歴】

中村只吾（なかむら・しんご）

富山大学学術研究部教育学系准教授。専門は日本近世漁村史。
論文に「近世後期～明治初期、津元家の存在実態とその背景に
関する再考察――長浜村大川（屋号大屋）家を事例として」渡
辺尚志編『移行期の東海地域史――中世・近世・近代を架橋す
る』勉誠出版、二〇一六年、「漁村秩序の近世的特質と自然資源・
環境」『歴史学研究』963、二〇一七年などがある。

渡辺尚志（わたなべ・たかし）

一橋大学大学院社会学研究科教授。専門は日本近世村落史。
著書に『近世百姓の底力』敬文舎、二〇一三年、「幕末維新期の
名望家と地域社会」同成社、二〇一四年、「百姓たちの水資源戦
争」草思社、二〇一四年、編著に『生産・流通・消費の近世史』勉
誠出版、二〇一六年、「移行期の東海地域史――中世・近世・近代
を架橋する」勉誠出版、二〇一六年などがある。

【目次】

序章 ◎中村只吾

第一部 戦国期地域権力としての生き方

第一章 領主――地域神社間相論と戦国大名権力

――今川領国遠江国一宮庄の事例から◎糟谷幸裕

第二章 戦国期の在地社会階層と〈惣村寺院〉

――伊勢国一志郡小俣郷成願寺文書再論◎水林純

第三章 戦国期江川氏の基礎的分析◎伊藤拓也

第二部 近世諸主体の生き方と地域の政治・経済環境

第四章 近世前期における土豪金融の特徴

――浜松藩領有玉村高林家を事例に◎福澤徹三

第五章 幕末の美濃国における幕領と尾張藩

――文久元年の私領化・多治見の陶磁器・土岐川の治水◎望月良親

第六章 維新期における遠江国旗本家の動向

――寄合五井松平家を中心◎野本禎司

第三部 近世／現在、水辺という環境における生き方

第七章 藻草入会期の近世的特質と共同体

――浜名湖の諸事例から◎斎藤一

第八章 魚漁分一役請負と海村の対応◎渡辺尚志

第九章 海辺の家の近世／現在

――伊豆国内浦小海・日吉（屋号東）家における家・地域の歴史◎中村只吾

あとがき◎渡辺尚志

執筆者一覧

本体 8,000 円(+税)

A5判上製カバー装・304頁
ISBN978-4-585-22290-3 C3021
2020年10月刊行

書 名	部 数
生きるための地域史 東海地域の動態から 中村只吾・渡辺尚志〔編〕	本体8,000円(+税) A5判上製カバー装・304頁 2020年10月刊行 ISBN978-4-585-22290-3 C3021
ご送付先ご住所（通信欄）	

江戸庶民の まじない集覧

創意工夫による生き方の智慧

長友千代治

〔著〕

疫病、災害、男女関係、不妊、
子育て、疾病、寿命…

生活のなかで直面するさまざまな悩みや障害に、
江戸時代の人々は「まじない」により対処してきた。
それらは、生き方を積極的に探し求めて
考え出された智慧であり、

また、いまを生きる我々にも

貴重な示唆を与えてくれる源泉でもある。

江戸時代に出版・書写された資料を博搜、
効能別に分類し、

二四〇点以上の図版とともに紹介する

「まじない」百科事典！

〔著者プロフィール〕

長友千代治（ながともちよじ）

昭和十一年宮崎市生まれ。三十五年佐賀大学卒業、四十五年大阪市立大学大学院博士課程
修了。大阪府立図書館司書、愛知県立大学・京都府立大学・佛教大学教授を歴任。

著書に、『近世貸本屋の研究』（昭和五十七年）、『近世上方作家・書肆研究』（平成六年）、『近
世上方浄瑠璃本の研究』（平成十一年）、『江戸時代の書物と読書』（平成十三年。以上東京堂
出版）、『江戸時代の図書流通』（思文閣出版、平成十四年）、『江戸庶民の読書と学び』（勉誠
出版、平成二十九年）など。編書に、『重宝記資料集成』全四十五巻別巻総索引（臨川書店、平
成十六・二十一年）、『江戸時代生活文化事典』（平成三十年）など。



〔目次〕

①「まじない」と「のろい」と

②呪縛と祈り、そして養生

③呪い総覧

④食物の呪い

⑤地震・雷・火事・親父

⑥人間関係の呪い

⑦日常生活の呪い

⑧旅行の呪い

⑨犬・猫・鼠・土竜・鼬・鶏・家鴨・鳥・烏・鳶・時鳥・

馬・牛・狐・狸・邪鬼・霊気の呪い

⑩虫・毒虫・蚤・虱・蠅・蚊・蜂・虻・油虫・蜘蛛・

百足・蛇・蝮の呪い

⑪療治の呪い

⑫内科の呪い

⑬外科の呪い

⑭婦人科の呪い

⑮小児科の呪い

主要依拠資料・索引

図版点数
240点超！



書 名	部 数
江戸庶民のまじない集覧 一 創意工夫による生き方の智慧 長友千代治〔著〕	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

本体6,000円(+税)

A5 判上製カバー装・392 頁
ISBN 978-4-585-20076-5・C1000
2020 年 10 月刊行

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

吉田松陰と学人たち

徳田武 [著]

森田節斎、佐久間象山、久坂玄瑞、
梁川星巖、月性……志士と呼ばれる人たちの内で、
最も多くの読書量・執筆量を誇る吉田松陰。
その松陰のありよう、思想に大きな影響を与えた、
多くの学人たち。幕末の激動する国際状況の中で、
学問を追求し、思索し、
行動した学人たちとの多彩な交流から、
松陰という人物の軌跡と精神の展開とを俯瞰する。
日記をはじめ、諸資料を丹念に紐解き、
松陰の一生に於いて大きな意義を持つ
学人たちとの関係を追尋した快著。

〔著者プロフィール〕

徳田武(とくだ たけし)

明治大学名誉教授。
早稲田大学第一文学部卒一九七四年、同大学院博士課程修了。文学博士。
一九七九年に窪田空穂賞一九八〇年に日本古典文学会賞一九八七年「日本近世小説と中国
小説」で日本学士院賞を受賞。
主な編著書に、『日本古典文学研究史大事典(勉誠出版、一九九七)』『朝彦親王伝(勉誠出
版、二〇二二)』『会津藩儒将 秋月章軒伝(勉誠出版、二〇二二)』『小原鉄心と大垣維新史(勉
誠出版、二〇二二)』『清河八郎伝 漢詩にみる幕末維新史(勉誠出版、二〇二六)』『浮世絵師の
絵で読む 八犬伝(上・下)(勉誠出版、二〇二七)』などがある。

〔目次〕

序

- 第一章 葉山佐内と山鹿万
第二章 鄭勘介——中国語への関心
第三章 草場佩川との交渉
第四章 村田清風との出会い
第五章 江戸の学術者たち
第六章 房総旅行と宮部鼎蔵・安藝五蔵
第七章 水戸の学者たち——会沢正志斎・豊田天功
第八章 文章の師 森田節斎
第九章 吉田松陰と佐久間象山——海外渡航への導き
第十章 吉田松陰と玉乃世履
第十一章 吉田松陰と月性——『清狂詩鈔』の刊行
第十二章 梁川星巖——朝廷との連絡
第十三章 広瀬旭荘と吉田松陰
第十四章 松下村塾の忠僕 久坂玄瑞
第十五章 吉田松陰と『八犬伝』
第十六章 吉田松陰の竹島開拓論
吉田松陰年譜
後記
人名索引

本体 10,000 円(+税)

A5 判上製カバー装・560 頁
ISBN 978-4-585-22291-0 C3021
2020 年 9 月刊行

書 名	部 数
吉田松陰と学人たち 徳田武 [著]	部
本体 10,000 円(+税) A5 判上製カバー装・560 頁 ISBN 978-4-585-22291-0 C3021 2020 年 9 月刊行	
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

新彰義隊戦史

大藏八郎〔編〕

慶応四年（一八六八）五月の上野戦争で、江戸の全市民から熱狂的エールを受けながら、新政府軍のアームストロング砲の前に一日で敗退したと片づけられてきた彰義隊。組織、装備ともに整った佐幕連合軍で、伝えられるような烏合の衆ではなかった。隊の歴史、隊士をはじめとする人物の人間像、そして映画・演劇・絵画などにおける受容などを幅広く紹介。

さらに生存者と子孫の証言や一次資料、関連史料を解析し事実と照合。その実態と全貌に迫る待望の書！

彰義隊史不朽の金字塔とされる山崎有信『彰義隊戦史』から130年。

後世に残る史書とすべく子孫、研究者22名が参加。新知見を加え、写真、図版200点余を駆使して彰義隊を可視化した永久版！

編者プロフィール

大藏八郎（おくら はちろう）

一九四九年生まれ。東京大学法学部卒業後、東洋エンジニアリング（株）で法務・知的財産・ライセンス等担当。二〇〇〇年、（株）エフテックに転じ、カナダ・アメリカの現地法人勤務。二〇一一年、本社に帰任し法務グループ設立。エフテック退職後、大学講師（国際ビジネス講座）、全国中堅企業の海外進出支援、大学講師（法・技研製作所法務顧問、市川総合研究所代表理事）として活動する傍ら彰義隊子孫の会事務局、万延元年遣米使節子孫の会監事、柳営会会員として幕末明治維新史の研究に従事。

本体七、〇〇〇円＋税

B5上製カバー装・五五〇頁
二〇二〇年九月刊行

ISBN978-4-585-22285-9 C1021

目次

第一部 彰義隊の歴史

第一章 彰義隊の予備知識

第二章 上野戦争の実際

第三章 彰義隊の祭祀

初建の墓／次建の墓／再建の墓／百年の祭／奇譚怪談

第二部 彰義隊の群像

第一章 彰義隊の人々

死者のうち十二名／生者のうち三十二名／縁者のうち六名

第二章 彰義隊の関係者

勝海舟と木城花野（彰義隊士夫人）／山岡鉄舟と覚王院義観／福沢諭吉の「瘦せ我慢武士道」／葛飾北斎と江戸の四景／上野松坂屋と江戸市民の体験した上野戦争／「ほ組」の高頭・榎本某／柳橋を救った男伊達／臼井勢以子／ホセ・リサルが慕った麗人

第三部 彰義隊の受容

第一章 彰義隊と江戸文化

長唄／岡安喜代八／川柳／内田博柳／武芸／鯨海正雲／琵琶歌／池辺義象／画像／石版画／錦絵／校歌（上野高校）／藤村作／漫画と歌謡

第二章 彰義隊とドラマ

歌舞伎／早月晴上野朝風（「將軍江戸を去る」／岡本綺堂「権十郎の芝居」／演劇「振武軍」／映画「殺多生剣」／ラスト・サムライ「合葬」

第四部

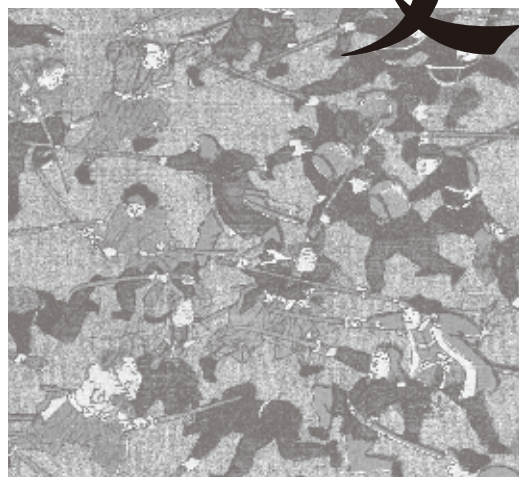
彰義隊の諸相（シンボリックのバネリスト意見）

寛永寺碑記／明治政府による検閲／浦井正明／薩摩からみた彰義隊／桐野作人／映画「合葬」の制作意図／小林達夫／彰義隊の心意気／星亮／彰義隊遺聞／森まゆみ／諷刺錦絵に描かれた彰義隊／森田健司／長州からみた彰義隊／山本栄一郎／彰義隊の武士道／山本博文

第五部

彰義隊の蝦夷

付録 彰義隊名鑑／彰義隊関連図書・文書
おわりに



書名	部数
新彰義隊戦史 大藏八郎〔編〕	本体7,000円(+税) B5判・上製カバー装・550頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22285-9 C1021
ご送付先ご住所（通信欄）	

ロマノフ王朝時代の 日露交流

東洋文庫・生田美智子【監修】
牧野元紀【編】

「奇跡」の断面

最高の執筆陣と珠玉の資料による渾身の日露交流史

亀山郁夫

図版点数
200点超!

【目次】

監修のことば…生田美智子

序論…本書刊行のねらい…牧野元紀

総論…ロマノフ王朝時代の日露交流…生田美智子

第一部●漂流民をとおした日露交流

漂流民がもたらした日露対話——伝兵衛から光太夫まで…生田美智子

「コラム◆日露歴史さんぽ」①イルクーツク…牧野元紀

「魯西亞國漂泊聞書」の挿絵について

——東洋文庫蔵と横浜市立大学図書館蔵の比較考察…牧野元紀

「コラム◆日露歴史さんぽ」②厚岸と根室…牧野元紀

漂流民たちが見たサンクトペテルブルグ…大島幹雄

「コラム◆日露歴史さんぽ」③サンクトペテルブルク…畔柳千明

第二部●近代国家としての関係樹立

北方紛争から北辺静平へ——高田屋嘉兵衛とリコルド…生田美智子

「コラム◆日露歴史さんぽ」④函館と淡路…牧野元紀

プチャーチンの来航とゴンチャロフ『日本渡航記』…沢田和彦

「コラム◆日露歴史さんぽ」⑤戸田…篠木由喜

視覚化された幕末の日露交流

——東洋文庫所蔵『プチャーチン来航図』が伝えること…岡崎礼奈

「コラム◆日露歴史さんぽ」⑥ハバロフスクとシカチ・アリヤン…牧野元紀

ゲンナジー・ネヴェリスコイのآمール調査（遠征）と幕末の日本…鬼内勇津流

「コラム◆日露歴史さんぽ」⑦ユジノサハリンスク、コルサコフ…清水保彦

第三部●日露学術交流の深化

ロマノフ王朝時代の日本情報と日本学…畔柳千明

「コラム◆日露歴史さんぽ」⑧ウラジオストク…麻田雅文

金田一京助夫妻の近世アイヌ語辞書写本

北海道・滝川本とロシア・サンクトペテルブルク本と…谷本晃久

「特別コラム」ロシア史料調査と共同研究の二〇年…保谷徹

第四部●ロマノフ王朝の終焉と日露交流の現場

閑院宮載仁親王の一九一六年〈答礼訪問〉を通してみた

日露皇室外交の最期…エドワード・パウルシエフ

「コラム◆日露歴史さんぽ」⑨

長崎・鹿児島・大津——ニコライ皇太子の足跡…牧野元紀

ニコライ二世皇帝とその家族の最後の日々…新井正紀

ロシア革命と古儀式派…下斗米伸夫

「特別コラム」『ノーボエ・スロボ』とロシアの運命…下斗米伸夫

モスクワ・莫斯科？…麻田雅文

附録（ロマノフ王朝時代の日露交流史関連年表・参考文献一覧）

あとがき…平野健一郎

本体 3,800 円(+税)

四六判・上製カバー装
口絵16頁+本文504頁

ISBN978-4-585-22286-6 C1020

2020年8月刊行

書 名	部 数
ロマノフ王朝時代の日露交流 東洋文庫・生田美智子【監修】 牧野元紀【編】	本体3,800円(+税) 四六判・上製カバー装 口絵16頁+本文504頁 2020年8月刊行 ISBN978-4-585-22286-6 C1020
ご送付先ご住所（通信欄）	

ポストコロナ時代の

東アジア

新しい世界の
国家・宗教・日常

アジア遊学
253

玄 武岩
藤野陽平 [編]



未知の脅威に向き合い、
新しい世界を切り拓くための指標を提示！

新型コロナウイルスのパンデミックは
かつてない社会的混乱を招いている。

日本・台湾・韓国・中国・香港は
この危機にどう対応したのか。

都市封鎖や各種の自粛措置、メディア戦略、

「新しい生活様式」等の各国の政策から

疫病除けの妖怪「アマビエ」の流行、

各国の宗教対策まで、

メディア・社会・宗教など多様な視点から比較検証。

国家と市民社会の関係、社会のゆがみを浮き彫りにし、
国境を越えた連帯と共感の必要性を問い直す。

【編者紹介】

玄 武岩 (ひょん・むあん)

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授。専門はメディア
文化論、日韓関係論。著書に『「反日」と「嫌韓」の同時代史』(勉誠出版 二〇一六
年)など。

藤野陽平 (ふじの・ようへい)

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。専門は文化人類
学。著書に『台湾における民衆キリスト教の人類学』(風響社 二〇一三年)など。

【目次】

序言 境界を越えた「連帯」のコミュニケーションへ

——ポストコロナ時代の東アジア——玄 武岩・藤野陽平

I ●ポストコロナ時代の政治とコミュニケーション

日本における新型コロナウイルス感染症とマスメディア報道……森 類臣
新型コロナウイルス対策優等生台湾の初動体制

——開いたものと閉じたもの……藤野陽平

開放性・透明性・民主的参加に基づく先制的対応が功を奏して……玄 武岩
中国・情報隠蔽から情報公開へ

——ソーシャルメディアの活躍と独自の国民世論の形成……王 冰

中国における既存メディアとソーシャルメディア共存時代の考察……牛 静
香港における新型コロナウイルスについての一考察——市民社会の力……伍 嘉誠

東アジアの新型コロナウイルス感染症封じ込めにみる検討課題……上水流久彦

【コラム】朝鮮民主主義人民共和国における新型コロナウイルス感染症対策……森 類臣

II ●新型コロナウイルスと変容する社会

百年前のマスク——「スペイン風邪」瞥見……渡辺浩平

「自粛」する日本社会——三十四年分の新聞記事を数えてみる……森山至貴
COVID-19影響下のリモートワークで派生した

組織コミュニケーション課題

——特に「身体性問題」(DX/RWの奔陥)を超える為に……辻本 篤

台湾山地先住民の村における

新型コロナウイルス感染症のインパクト……宮岡真央子

「距離」と性的マイノリティ

——韓国のナイトクラブにおける集団感染から……斉藤巧弥・芳賀 恵

韓国におけるコロナ対策と(非)可視化される人々

——在外同胞・移住民を中心に……趙 慶喜

ジャーナリズム研究者が見たサイバー空間上のアンチ・コロナ運動……陳 昌鳳

III ●コロナ時代にみる東アジアの信仰の姿

祭礼の中止、妖怪の流行——「疫病除け」を手掛かりに……天田顕徳

疫病と民間信仰——祭礼・アマビエ・鼠塚……鈴木正崇

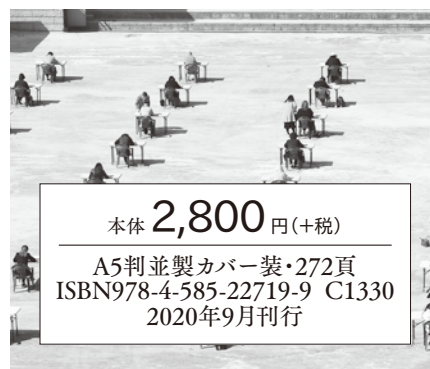
コロナ問題と現代宗教……井上順孝

疫病と台湾の民間信仰……三尾裕子

感染症のパンデミックと分断の可視化

——コロナテスト中の韓国社会と宗教を問う……李 賢京

【コラム】香港におけるコロナと宗教……伍 嘉誠



本体 2,800 円(+税)

A5判並製カバー装・272頁
ISBN978-4-585-22719-9 C1330
2020年9月刊行

書 名	部 数
ポストコロナ時代の東アジア [アジア遊学No.253] 新しい世界の国家・宗教・日常 玄 武岩・藤野陽平 [編]	本体 2,800 円(+税) A5判並製カバー装・272頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22719-9 C1330
ご送付先ご住所 (通信欄)	

仏教の東漸と西漸

ぶつぎょうのとうぜんとせいぜん

【アジア遊学251】

荒見泰史 [編]

言語・思想・政治にみる
宗教の伝播と変容

仏教の伝播は、従来インドから中国を経て東アジアや東南アジアへと伝わる「東漸」に着目して論じられることが多かった。

しかし、東アジアの中心である中国で受容・昇華された仏教が中国から外部へと向かっていく方向性にも目を向けなければ、伝播の実態をつかむことはできない。

本書では中国への「東漸」の逆方向をイメージするため、この外部に向かう方向性を「西漸」と称している。

さまざまな儀礼や経典、文学、図像を取り上げ、

各時代の広い社会層における信仰・宗教の伝播と継承、衝突と融合の実態を東漸と西漸の双方向から考察し、新しい文化史を構築する。

【編者紹介】

荒見泰史（あらみ・ひろし）

広島大学大学院人間社会科学科教授。広島大学 Distinguished Professor。専門は中国文学、中国語学、敦煌学、仏教文学。主な著書に『仏教文学研究論集』共編、復旦大学出版社、二〇〇四年、『敦煌変文写本の研究』（中華書局、二〇一〇年）、「敦煌講唱文学写本研究」（中華書局、二〇一〇年）などがある。

【目次】

総論 仏教の東漸と西漸…荒見泰史

I ● 儀礼とすることば

頌讃の文学…荒見泰史

志慕玄奘、独歩五天——唐五代宋初の讃と玄奘、義浄の讃…楊明璋

清代前期、媽祖信仰・祭祀の日本伝播とその伝承

——ヨーロッパの東アジア進出も視野に入れて…松尾恒一

II ● 尊像の造形と伝承

信仰における図像と継承

——敦煌に見られる山と天界の図像を中心として…荒見泰史

五臺山騎獅文殊尊像群の東漸と西漸

——五臺山・比叡山・敦煌の尊像群から…白須浄真

III ● 経典と物語、その伝播

『賢愚経』の伝播…高井 龍

『キツキと獅子』説話の伝播と発展…梁麗玲

『仏母経』の流行から見る疑経の受容…岸田悠里

明代、南シナ海の高僧の活動と記憶

——日本・中国大陸・東南アジアの宗教史跡をめぐって…松尾恒一



本体二、八〇〇円（＋税）
A5判並製カバー装・二五六頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22717-5 C1315

書名	部数
仏教の東漸と西漸 荒見泰史 [編] 【アジア遊学No.251】	本体2,800円（＋税） A5判並製カバー装・256頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22717-5 C1315
ご送付先ご住所（通信欄）	

酔いの文化史

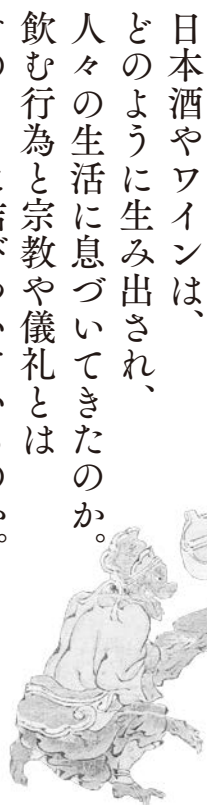
儀礼から病まで

伊藤信博 [編]

『アジア遊学 250』

本体 2,800 円(+税)
A5判並製カバー装・256頁
ISBN978-4-585-22716-8 C1320
2020年8月刊行

東西飲酒文化の
深層に迫る



日本酒やワインは、
どのように生み出され、
人々の生活に息づいてきたのか。
飲む行為と宗教や儀礼とは
どのように結びついていくのか。
醸造や酒宴の歴史から、食文化とのかかわり、
文学・絵画における表象、
アルコール依存症など現代的な問題まで、
宗教的・社会的機能をもつ飲酒文化について、
文学史・美術史・歴史学・食文化史など
様々な分野から切り込む。

【編者紹介】

伊藤信博 (いとうのぶひろ)

相山女学園大学教授。専門は比較文化史。主な論文に、「掲鉢図と水陸齋図について」(『日本文学の展望を拓く——絵画イメージの回廊』第二巻、笠間書院、二〇一七年)、「擬人化の転換期において」(『妖怪・憑依・擬人化の日本文化——異類文化学入門』笠間書院、二〇一六年)、共編者に、『酒飯論絵巻・影印と研究——文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺』(臨川書店、二〇一五年)などがある。

【目次】

序言——東西の飲酒文化を考える……伊藤信博

I ● 酔いと宗教

無明の酒に酔う——《酔い》の表現史……小峯和明
醵饌盆をめぐる——織田信長を端緒に……目黒将史
僧坊酒宴追考……芳澤 元
酒と仏教——酒の仏は

「酔い酔い酔い酔い、酔いやな」……石井公成
「コラム」人類最初の酔っぱらいとしてのノア……木俣元一

II ● 飲酒とその表象

平安貴族の「酔い」と「まつりごと」……高橋 亨
平安後期における香葉の「酔い」
——『香要抄』を中心に……アンドリュ・マッカンバー

破戒と陶酔——中世絵画に見る……山本聡美
黄表紙に擬人化される酒……畑 有紀

中世文学のなかの居酒屋と放蕩息子——クリシエカ現実か……前野みち子

III ● 飲酒と環境

米と酒そしてその周辺——環境の視座から……伊藤信博・伊藤彰敏
椒芽田楽の洒落本から見るお酒と酔い……ディラン・ミギー
飲料の製造、飲み方と文化

——例外としての日本酒……ニコラ・ボームール
アンシャンレージュ期のフランスにおける

酔いに対する寛容……マテュー・ルクトル(棚橋美知子 訳)

酔う女——徳田秋聲『新世帯』と明治期の飲酒文化……安井海洋

「コラム」日本酒と肴——海辺の村で呑み初め……小川雅魚

IV ● 飲酒と病

「コラム」フランスにおけるアルコール中毒対策の

政策的曖昧さ……ジャン・ロベール・ピット(棚橋美知子 訳)

「コラム」飲酒と体内器官の関係……トマ・ロラン(棚橋美知子 訳)

「コラム」アルコール飲料製造における

生物学的プロセス……アンドレス・マツナ(棚橋美知子 訳)

翻訳を終えて……棚橋美知子



書 名	部 数
酔いの文化史 儀礼から病まで 【アジア遊学No.250】 伊藤信博 [編]	本体 2,800 円(+税) A5判並製カバー装・256頁 2020年8月刊行 ISBN978-4-585-22716-8 C1320
ご送付先ご住所 (通信欄)	

ライブラリーぶっくす

司書のお仕事 2

本との出会いを届けます

〔著〕 大橋崇行 (東海学園大学 准教授)

〔監修〕 小曾川真貴 (犬山市立図書館司書・日本図書館協会協定認定司書)

本体 1,800 円 (+税)

四六判並製カバー装・207 頁
ISBN 978-4-585-20075-8 C0000
2020 年 10 月刊行

司書って、どんな仕事してるの？

司書課程で勉強したいと思っている中高生、大学生、社会人や、司書という仕事に興味を持っている方に向けて、司書の仕事をストーリー形式でわかりやすく伝える。



(あらすじ)

公務員試験を突破して味岡市の職員に採用された稲嶺双葉(いなみね・ふたば)は、味岡市立図書館で司書として勤務してはや半年、多岐にわたる業務を行う中で、日々成長していた。

ある日、同僚に展示の入れ替えの相談をするも、委託契約の業務外ということで断られてしまう。同じ職場にいても、勤務形態の違いで業務内容が大きく異なることを知り…。

【本書の特徴】

- 司書の日常を、ストーリーとコラムでわかりやすく楽しく読める。
- 「除架と除籍」、「行政支援レファレンス」等…、専門用語や業務を、現役の司書が解説。各章末には仕事にまつわるコラムを附す。

読めばわかる、司書の世界！

【目次】

はじめに

第1章 図書館の幽霊

コラム◎特別整理期間
コラム◎図書館で司書として働くには

第2章 行政と法と図書館と

コラム◎図書館とデータベース
コラム◎読書バリアフリー法
コラム◎図書館とゲーム
コラム◎図書館と地域連携事業

第3章 本と人とが会える場所

コラム◎寄贈図書
コラム◎図書館と生涯学習
コラム◎図書館での資料保存

おわりに

【著者プロフィール】

大橋崇行(おおはし たかゆき)

作家、文芸評論家、東海学園大学人文学部准教授。博士(文学)。

小説の著書に『遥かに届きみの声』(双葉社)、『浅草文豪あやかし草紙』(一迅社)など。

平成25年度全国大学国語国文学会「文学・語学」賞。

第1回双葉文庫ルーキー大賞受賞。

書 名	部 数
ライブラリーぶっくす 司書のお仕事 2 本との出会いを届けます 大橋崇行〔著〕／小曾川真貴〔監修〕	本体 1,800 円 (+税) 四六判並製カバー装・272 頁 ISBN 978-4-585-20061-1 C0000 2018 年 4 月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

儒教儀礼と 近世日本社会

闇斎学派の『家礼』実践

松川雅信 [著]

近世日本にとって儒教儀礼とは
何であったのか――

科挙のような儒教的制度を持たない一方、
仏教の葬儀や祭祀が行われていた近世日本社会。
そうした社会を生きる儒者たちは、
殊に東アジアで絶大な影響力を誇った

『家礼』記載の喪祭礼を、どのように捉え、
そしていかにして実践しようとしたのか。

長期間にわたってこの問題と真摯に向き合い続けた、
山崎闇斎を学祖とする闇斎学派に着目、
思想と社会とが様々に交錯する

現場に立ち入ること、
これまで見落とされてきた
近世日本儒教の新しい一面を照らし出す。

〔著者プロフィール〕

松川雅信 (まつかわ まさのぶ)

日本学術振興会特別研究員。専門は日本思想史、日本近世史。
主要論文に、「近世儒者の神代巻批判と『神道』上占」(鈴木貞斎に即して)『山下久夫・斎藤英喜編『日本書紀1300年史を問う』思文閣出版、二〇二〇年)、「近世日本の儒教儀礼と儒者」『東アジア思想史』のための試論的考察(桂島宣弘ほか編『東アジア 遭遇する知と日本』トランスナショナルな思想史の試み『文理閣』二〇一九年)、「稲葉黙斎の喪礼実践論——祖徳学批判・仏教認識に注目して」『第一回日本経済思想史学会賞受賞』(『日本思想史学』五十号、二〇一八年)などがある。

〔目次〕

序章

第一部 浅見綱斎とその周辺

第一章 「此方ナリ」の『家礼』実践

――基軸としての「本」と「文」――

第二章 「物ナリ」の思考——「格物」と喪礼実践

第三章 「心ノ理ナリ」による来格——鬼神論と祭礼実践

第二部 闇斎学派の地域展開と『家礼』実践

――尾張と上総を中心に――

第四章 尾張藩の学問所と『家礼』

――蟹養斎による喪祭礼実践の教導

第五章 寺請・寺檀体制下の『家礼』実践

――中村習斎と尾張崎門派

第六章 「反徂徠」と『家礼』実践——稲葉黙斎と上総道学

終章

あとがき
索引

本体 10,000 円(+税)

A5 判上製カバー装・440 頁
ISBN 978-4-585-21056-6 C3010
2020 年 7 月刊行

書 名	部 数
儒教儀礼と近世日本社会 闇斎学派の『家礼』実践 松川雅信 [著]	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

漢学とは何か

漢唐および清中後期の学術世界

【アジア遊学 249】

川原秀城 [編]

客観の学が包み込む

広大な「知」の世界――

漢学は、漢代以降、大半の時期において、中国の学術に標準的な理論と方法を提供し、中国社会に規範として影響力を発揮した。正統異端の分別を主とする宋学とは異なり、思想の体系性よりも思想の客観性を重視する漢学の学的性格は排他性を嫌い、諸学並存的ないし相互補完的な知的世界を展開した。現代の人文文学の領域を大きく凌駕する漢学の視点は、どのようにその対象を広げ、如何に事象を記述しようとしたのか。漢唐および清中後期の学術を多角的に分析し、歴代漢学の総覧を通して、学的特徴とその限界について考察する。

【編者紹介】

川原秀城（かわはら・ひでき）

東京大学名誉教授。専門は中国朝鮮思想史・東アジア科学史。

主著に『中国の科学思想―両漢天学考』（創文社、一九九六年）、『閩流和算書大成―閩算四伝書』一～三期（共編、勉誠出版、二〇〇八～二〇一一年）、『西学東漸と東アジア』（岩波書店、二〇一五年）、『数と易の中国思想史―術数学とは何か』（勉誠出版、二〇一八年）などがある。

【目次】

序文……川原秀城（東京大学）

第一部 ● 両漢の学術

今文・古文……川原秀城

劉歆の学問……井ノ口哲也（東京学芸大学）

『洪範五行伝』の発展と変容……平澤歩（早稲田大学）

前漢経学者の天文占知識……田中良明（大東文化大学）

第二部 ● 六朝・唐の漢学

鄭玄と王肅……古橋紀宏（香川大学）

北朝の学問と徐遵明……池田恭哉（京都大学）

明堂に見る伝統と革新

――南北朝における漢学……南澤良彦（九州大学）

第三部 ● 清朝の漢学

清朝考証学と『論語』……木下鉄矢（岡山大学）

清代漢学者の経書解釈法……水上雅晴（中央大学）

乾隆・嘉慶期における

叢書の編纂と出版についての考察……陳捷（東京大学）

嘉慶期の西学研究

――徐朝俊による通俗化と実用化……新居洋子（立教大学）

第四部 ● 総論…漢学とは何か

清朝考証学における意味論分析の

数学的原理と満洲語文献への応用

――データ・サイエンスとしての漢学……渡辺純成（東京学芸大学）

漢学は科学か？

――近代中国における漢学と宋学の対立軸について……志野好伸（明治大学）

本体 2,800 円（＋税）

A5判並製カバー装・256頁
ISBN978-4-585-22715-1 C1322
2020年7月刊行

書 名	部 数
漢学とは何か 漢唐および清中後期の学術世界 川原秀城 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

【アジア遊学No.249】

本体 2,800 円（＋税）

A5判並製カバー装・256頁
2020年7月刊行
ISBN978-4-585-22715-1 C1322

古代の日本と東アジア

人とモノの交流史

鈴木靖民 [著]

東アジアの構造はいかに形成され、展開したのか――

文献資料、最新の考古学的成果を博搜し、
地政学的そしてヒト・モノ・文化の交流の視点より
一世紀から十世紀におよぶ
日本および東アジアの歴史的展開を
浮き彫りにする。
長年にわたり東アジア古代史研究を牽引する
碩学による最新論集。

【著者プロフィール】.....

鈴木靖民 (すずき・やすたみ)

横浜市歴史博物館館長、國學院大學名誉教授、淑徳大学人文学部客員教授。

文学博士。専門は日本古代史・東アジア古代史。

主著に『比較史学への旅―ガリア・ローマから古代日本へ』(勉誠出版、二〇二二年)、『梁職貢図と東部ユーラシア世界』(編著、勉誠出版、二〇一四年)、『日本古代の周縁史』(岩波書店、二〇一四年)、『相模の古代史』(高志書院、二〇一四年)、『古代日本の東アジア交流史』(勉誠出版、二〇一六年)、『日本古代交流史入門』(共編著、勉誠出版、二〇一七年)などがある。

【目次】

はじめに

I 王権の始原・交易の力

- 1 加耶史の展開と倭
- 2 加耶の形成と対外交流 ― 一〜三世紀
- 3 倭国の形成と加耶 ― 四〜五世紀
- 4 加耶文化の北方的要素
- 5 弥生後期、根塚遺跡と東アジア

II 中心化する周辺・あらがう周辺

- 1 広開土王碑にみえる「倭」
- 2 五世紀、高句麗の王陵・祭祀・王統譜
― 集安高句麗碑小考
- 3 五世紀の倭国と東アジア
- 4 反正天皇(珍)の人物像 ― 記紀、宋書を通して

III 外交の形・移動する文化

- 1 新羅の倭典と上表
- 2 半跏思惟仏像をめぐる倭と百濟・新羅 ― 七世紀
- 3 古代日本の文化形成に寄与した朝鮮の人びと
― 七世紀を中心として
- 4 古代日本列島の遠距離交流と文化伝播

IV 交流する国家・媒介する中国

- 1 日本古代国家のなりたちと東アジアの交流
― 『古事記』『日本書紀』にみえる女性像
― 古代国家と周縁
- 3 渤海国の首領と交易
― 史的特質をめぐって
- 4 シルクロード・東ユーラシア世界と古代日本

おわりに
索引

本体 **10,000**円(+税)

A5 判上製カバー装・472 頁
ISBN 978-4-585-22279-8 C3020
2020 年 7 月刊行

書 名	部 数
古代の日本と東アジア 人とモノの交流史 鈴木靖民 [著]	部
ご注文先ご住所 (通信欄)	

本体 **10,000**円(+税)

A5判上製カバー装・472頁
ISBN978-4-585-22279-8 C3020
2020 年 7 月刊行

新羅中古期の
史的
研究

武田幸男 [著]

本体 12,000 円(+税)

A5 判上製カバー装・568 頁
ISBN 978-4-585-22278-1 C3022
2020 年 7 月刊行

古代東アジアにおける国際関係を考える上で、

朝鮮半島に展開した各国の動向は見過ごすことの
出来ない大きなテーマである。

ただし、残存史料が断片的であるなど困難も多く、
その研究構築は容易ではない。

本書は、日本とも関連の深い、朝鮮半島の古代史で
主導的役割を担った新羅について、

とくに飛躍的な発展を見せた
新羅中古期(五一四～六五四年)を中心に考究。

近年、陸続と発見された各種の新羅碑文を
諸史料とともに精緻に読み込むことにより、

当時の激動する東アジアの国際関係における、
新羅の史実態とその展開過程を明らかにする。

金石文・文献史料双方に精通し、
朝鮮古代史の先達として活躍する泰斗による待望の一書。

「著者プロフィール」

武田幸男 (たけだ ゆきお)

東京大学名誉教授。専門は朝鮮前近代史。
著書に『高麗史日本伝』上・下(岩波書店、二〇〇五年)、『広開土王碑との対話』(白帝
社、二〇〇七年)、『広開土王碑墨本の研究』(吉川弘文館、二〇〇九年)などがある。

「目次」

序言

第一編 新羅官位制の研究

- 第一章 新羅・法興王代の律令と衣冠制
第二章 金石文資料からみた新羅官位制
第三章 新羅官位制の成立
第四章 新羅官位制の成立に関する覚書

第二編 新羅「教事碑」の研究

- 第一章 浦項・中城里碑の研究
第二章 迎日・冷水里碑の立碑年次と「王教」主体
第三章 蔚珍・鳳坪碑の「教事」主体と「刑罰」執行
第四章 真興王代における新羅の赤城経営
第五章 丹陽・赤城碑の「教事」主体と「教事」内容

第三編 蔚州書石の研究

- 第一章 顔のない人物像の彼方
第二章 「乙巳年原銘」と「己未年追銘」の研究
第三章 蔚州書石「癸巳六月廿二日銘」の研究
第四章 新羅・沙喙部集団の書石谷行

第四編 新羅支配体制の研究

- 第一章 新羅六部とその展開
第二章 新羅の法幢軍団とその展開
第三章 新羅の二人派遣官と外司正
第四章 私の新羅史探求の旅
新羅の国号・王号・王権とタロの系譜

あとがき
索引

書 名	部 数
新羅中古期の史的 研究 武田幸男 [著]	部
本体 12,000 円(+税) A5判上製カバー装・568頁 ISBN978-4-585-22278-1 C3022 2020 年 7 月刊行	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

近世大名墓の考古学

東アジア文化圏における思想と祭祀

松原典明〔編〕

為政者の思考・観念を「墓」に探る
列島各地に残された近世大名家の墓所は、幕藩体制の社会構造、地域の政治・経済・文化・信仰についての歴史的背景を解明するための極めて重要な歴史資料である。そして、その墓所造営や葬送儀礼、祖先祭祀には、東アジア文化圏に共通項として存在した儒教受容や礼学の実態が顕現している。

近年、調査・研究の進む大名家墓所を、考古学そして文献学の知見より多角的に検討し、近世武家社会における為政者の思想とその実践の諸相を明らかにする。

図版掲載点数約400点！

編者プロフィール

松原典明(まつばらのりあき)

一九六〇年生まれ。石造文化財調査研究所代表。専門は近世考古学、墓制史。著書に『近世宗教考古学の研究(雄山閣、二〇〇九年)』、『近世大名葬制の考古学的研究(雄山閣、二〇一一年)』、『近世大名墓の世界(共著、雄山閣、二〇一三年)』、論文に『近世武家社会における葬制について——藤堂高久の葬送と喪禮』、『日本仏教総合研究』10号、二〇一一年、『近世大名家墓所からみたアイデンティティの形成——大江姓永井家墓所形成を例として』、『日本考古学』41(二〇一六年)、『近世大名墓から読み解く祖先祭祀』、『宗教と儀礼の東アジア——交錯する儒教・仏教・道教』アジア遊学二〇六号、二〇一七年などがある。

本体 12,000 円(+税)

B5判・上製カバー装・336頁
ISBN978-4-585-22276-7 C3021
2020年6月刊行

目次

はじめに◎松原典明
総論 近世大名家墓所調査の意義◎坂詰秀一

Ⅰ 近世大名葬制の思维と実践

会津藩の思想と儒教・神道の実践◎近藤真佐夫
彦根藩井伊家の墓所造営と変遷——清涼寺墓所の再検討◎下高大輔
岡山藩の儒教受容とその本末——儒教の墓を中心にして◎北脇義友
日出藩木下家の宗教思想と祭祀
神道・儒教受容の足跡と先祖祭祀の諸相◎中尾征司
岡藩中川家の思想と実践——儒教受容とその展開◎豊田徹士
近世後期の豊後日田における葬礼の実践について
廣瀬淡窓・咸宜園とその周辺◎吉田博嗣
薩摩藩島津家の墓所造営と宗教◎藤井大祐
近世大名墓誌の存否について◎石田 肇

Ⅱ 東アジア文化圏の思想受容と祭祀

黄檗文化の受容とその実践——歴住と帰依大名の墓から◎松原典明
黄檗宗の展開と近世大名の帰依◎田中智誠
近世大名家における積奠祭と礼楽の受容と変容
尾張藩徳川義直と姫路藩雅楽頭酒井忠道を事例として◎楊 桂香
コラム◎大名庭園に写された西湖堤◎田中昭三
長崎唐通事の墓制とその起源◎田中裕介
沖縄における儒教の実践◎仁王浩司
朝鮮王朝の碑の文化と社会◎篠原啓方
執筆者一覧

書 名

近世大名墓の考古学
東アジア文化圏における思想と祭祀
松原典明〔編〕

ご送付先ご住所(通信欄)

部 数

本体 12,000 円(+税)

B5判・上製カバー装・336頁
2020年6月刊行
ISBN978-4-585-22276-7 C3021

部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

古文書の様式と国際比較

小島道裕・田中大喜・荒木和憲[編]／国立歴史民俗博物館[監修]

古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を通史的・総合的に論じ、また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。掲載図版 120 点超！ カラー口絵では、古文書の様式を分かりやすく図解。

本体 7,800 円(+税)・A5 判上製・432 頁・ISBN22272-9・2020 年 2 月刊行



日本の表装と修理

岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人[編]

絵画や書、古文書の表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに行われてきたのか。残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、表装と修理にまつわる文化史を描き出し、今日の我々にとっての文化財保護の意義と意味を照射する。

本体 7,000 円(+税)・A5 判上製・432 頁・ISBN20073-4・2020 年 3 月刊行



日本建築の歴史的評価とその保存

山岸常人[著]

歴史的建造物をどのように調査し、その特質を読み取るのか、どのように保存を行ってゆくべきなのか。長年にわたり調査・研究・保存に携わってきた知見より、歴史的建造物を保存し将来に伝えて行くための考え方と具体的な事例を提示する。

本体 17,000 円(+税)・B5 判上製・672 頁・ISBN22268-2・2020 年 2 月刊行



古文書研究 第 89 号

日本古文書学会[編]

歴史学をはじめ、諸分野における研究の基盤をなす古文書学。その最前線を伝える学術雑誌。執筆者：大島創／高島廉／長崎健吾／中野等／刑部芳／濱本裕史／西光三／角和裕／金子拓／村井祐樹／河内春人／堀川徹／堀内淳一／山口博／岡村一幸。

本体 3,800 円(+税)・B5 判並製・160 頁・ISBN22416-7・2020 年 6 月刊行



歴博甲本洛中洛外図屏風の研究

小谷量子[著]

芸術志向の近現代絵画とは異なる中世絵画の特徴をふまえ、歴博甲本に描かれた主題、注文者、そして作者を明らかにする。絵の中に巧に隠された「歌・物語」の中に、制作を命じた将軍のメッセージが残されている。

本体 10,000 円(+税)・A5 判上製・524 頁・ISBN22257-6・2020 年 2 月刊行



日本近世社会と町役人

望月良親[著]

甲斐国の甲府町年寄を代々務めたとされる坂田家はどのようにして中世以来続く世襲町役人としての位置を確固たるものとし、近世社会を生き延びていったのだろうか。伝来の文書等諸史料の博搜により解明し、新たな近世社会の様相を描き出す。

本体 6,000 円(+税)・A5 判上製・256 頁・ISBN22266-8・2020 年 2 月刊行



近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容

北奥地域の事例研究

鈴木淳世[著]

19 世紀前半、相次ぐ飢饉や財政窮乏などの社会状況の変化に対し、中間層である豪商・豪農たちはどのように対応していったのか。彼らの思想の形成過程を蔵書体系や書物受容から探り、「知」との関わりを解明する。

本体 10,000 円(+税)・A5 判上製・480 頁・ISBN22265-1・2020 年 2 月刊行

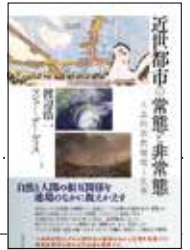


近世都市の常態と非常態 人為的自然環境と災害

渡辺浩一／マシュー・デーヴィス〔編〕

「水」に着目し、近世都市において、水がどのようなシステム・環境の元に制御され、災害によりどのような変化・対応を強いられたのかを、学融合・比較という観点から解明。人間社会の動態のなかに災害を位置づけ、環境史研究の新たな方法論を模索する。

本体 7,000 円(＋税)・A5 判上製・240 頁・ISBN22267-5・2020 年 2 月刊行



江戸日本橋商人の記録 〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書

澤登寛聡・筑後則〔編〕

享保改革期から田沼時代・寛政改革・文化期まで活躍し、320 年の歴史の基礎を築いた高津家三代・四代当主の活動を克明に記した日記・文書、その思想・人生哲学を伝える史料を初めて翻刻、解題・通釈を付して公刊。商人・町人の暮らしを映し出す貴重資料。

本体 11,000 円(＋税)・四六倍判上製・352 頁・ISBN22269-9・2020 年 3 月刊行



甦る「豊後切支丹史料」 バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より

松井洋子・佐藤孝之・松澤克行〔編〕

1942・46 年に刊行されて以後、キリシタン研究に不可欠の基礎文献として用いられてきた『豊後切支丹史料』・『続豊後切支丹史料』。2011 年バチカン図書館発見の両書の原史料に基づき、改めて忠実に校訂・翻刻。さらに関連する史料を併せて提供する。

本体 12,000 円(＋税)・A5 判上製・564 頁・ISBN22261-3・2020 年 2 月刊行



琉球船漂着者の「聞書」世界 『大島筆記』翻刻と研究

島村幸一〔編〕

『大島筆記』諸本のうち最も内容の備わった最善本を初めて全編翻刻、校異を付し、さらに琉球船の土佐への漂着に関する貴重資料『琉球船漂恙記』『韓川筆話(抄)』『琉球人話』を収録。研究編として、論考六篇を収載した決定版。

本体 10,000 円(＋税)・A5 判上製・472 頁・ISBN29197-8・2020 年 3 月刊行



スイス使節団が見た幕末の日本

ブレンワルド日記 1862-1867

横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記研究会〔編〕

スイスとの通商条約締結の過程や横浜での西洋人の生活、生麦事件発生当時の居留地の様子、幕末の外国商社の活動などを具体的に知ることができる一級資料であるブレンワルドの日記のうち 1867 年 12 月までのものを全編翻訳し初公開。図版点数 111 点！

本体 9,800 円(＋税)・A5 判上製・570 頁・ISBN22275-0・2020 年 6 月刊行



幕末明治の社会変容と詩歌

青山英正〔著〕

前近代以来継承された伝統文芸としての和歌、そして明治十年代に欧米詩の模倣から始まった新体詩の展開を、前近代から近代へと続く史的展開のなかに位置づけ、政治史・社会史・文化史など複合的な視点から社会的行為としての文芸の営みを描き出す。

本体 10,000 円(＋税)・A5 判上製・496 頁・ISBN29196-1・2020 年 2 月刊行



渋沢敬三とアチック・ミュージアム

知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷

加藤幸治〔著〕

私設博物館兼研究所「アチック・ミュージアム」を開設した渋沢と、そこに集まった仲間たちの営為・思想から、人文学本来のかたちを体現する、学問を紐帯とした共同体の可能性と文化創造の在り方を探る。

本体 3,500 円(＋税)・四六判並製・364 頁・ISBN22263-7・2020 年 1 月刊行



荒れ野の六十年 東アジア世界の歴史地政学

與那覇潤〔著〕

東アジア世界が抱える摩擦の根源へ、古典と最新研究の双方を対照した先に見える新しい共存の地平とは。不毛な論争に終止符を打つ、気鋭の歴史学者による最後の論文集。

本体3,200円(＋税)・四六判上製・392頁・ISBN222264-4・2020年1月刊行



日本画の所在 東アジアの視点から

北澤憲昭・古田亮〔編〕

「日本画」はどこから来たのだろうか。そして、これからどこへ行くのだろうか…。〈歴史〉〈領域〉〈表現〉という3つの視点から、東アジアという場における「日本画」の形成・展開の諸相を歴史的・文化的に把捉し、「日本画」の概念を未来へとひらく画期的成果。

本体6,500円(＋税)・A5判上製・320頁・ISBN27055-3・2020年4月刊行



描かれたマカオ ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史

貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇〔編〕

アヘン戦争などによって世界史がおおきく揺れた18～19世紀のマカオを描く版画・水彩画・写真などから当時のマカオの光と影を読み解くとともに、その未来像を探る。フルカラー・全編日英併記。

本体22,000円(＋税)・A4判上製・238頁・ISBN22262-0・2020年4月刊行



メディアのなかの仏教 近現代の仏教的人間像

森覚〔編〕

メディアが生成した宗教表象を受容することで、人々は、どのような仏教文化を生み出したのか。社会的に生み出された文化的所産である仏教的人物像の性質と機能を明らかにし、仏教文化に見られるメディア表現の創造と受容の実態へ迫る。

本体7,500円(＋税)・A5判上製・352頁・ISBN21054-2・2020年5月刊行



上海におけるプロテスタント

現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷

村上志保〔著〕

国家によって宗教活動に対する様々な制限を受けながらも、現代を生きる中国プロテスタントたちの姿を、経済都市上海での豊富なフィールドワークを通して描く。急速な経済発展と社会の変化が宗教に与える影響を明らかにする。

本体6,000円(＋税)・A5判上製・320頁・ISBN21055-9・2020年5月刊行



「本読み」の民俗誌 交差する文字と語り

川島秀一〔著〕

宗教的な講や田の水引きの農作業など村人が集まる機会に、独特の節回しで本を読んで聞かせる人びと、ホンヨミ。三陸地方を中心に、ホンヨミに触れてきた人びとへの直接の取材から浮かび上がる民俗社会を描き出す。

本体3,500円(＋税)・四六判上製・320頁・ISBN23081-6・2020年6月刊行



医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界

陳捷〔編〕

医学・本草学・農学・科学に関する書物は、人びとの社会・生活に密着するものとして広く流通・展開している。これまで総合的に論じられることのなかった東アジアにおける情報伝達と文化交流の世界を、地域・文理の枠を越えて考究する画期的論集。

本体12,000円(＋税)・A5判上製・456頁・ISBN20072-7・2020年2月刊行



明治が歴史になったとき アジア遊学 248

史学史としての大久保利謙

佐藤雄基[編]

政治家、官僚、軍人などの個人文書を収集・公開する国立国会図書館憲政資料室の創設に関わり、数々の史料編纂等、研究のための整備に尽力した大久保利謙。その足跡を史学史・史料論・蔵書論の観点を交え検証し、日本近代史研究の誕生の瞬間を描く。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・240 頁・ISBN22714-4・2020 年 6 月刊行



移動するメディアとプロパガンダ アジア遊学 247

日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術

西村正男・星野幸代[編]

戦中から戦後にかけて、映画、音楽、漫画、舞踊は政治的・文化的なプロパガンダとしての効果を発揮した。「プロパガンダ芸術＝移動するメディア」と、それを担った個人の思惑や彼らを動かした歴史・社会的な動態との関連を、人間模様を通して活写する。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・224 頁・ISBN22713-7・2020 年 4 月刊行



和漢のコードと自然表象 アジア遊学 246

十六、七世紀の日本を中心に

島尾新・宇野瑞木・亀田和子[編]

前近代の日本において、和漢の文化体系は、思考・感性の基盤として通奏低音のごとく響き続けた。列島における社会構造的・環境的転換期である十六～七世紀に着目し、文学、美術、芸能、歴史学等、分野横断的な視点から、自然と人との関係を問い直す。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・272 頁・ISBN22712-0・2020 年 4 月



アジアの死と鎮魂・追善 アジア遊学 245

原田正俊[編]

臨終や葬儀、鎮魂など儀礼の展開は、各時代、各地域において多様な様相をみせ、それらはアジア全体で共通する要素も多い。アジアにおける死と鎮魂についての文化を歴史学・思想史の立場から考察する。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・208 頁・ISBN22711-3・2020 年 3 月刊行



前近代東アジアにおける〈術数文化〉 アジア遊学 244

水口幹記[編]

幅広い文化的現象を統合する用語として〈術数文化〉というキーワードを設定し、これまでの研究では看過されがちであった理論・思想以外の事象—文学・学術・建築物などへの影響や受容—を対象とし、地域への伝播・展開の様相を通時的に検討する。

本体 3,200 円(＋税)・A5 判並製・312 頁・ISBN22710-6・2020 年 3 月刊行



中央アジアの歴史と現在 アジア遊学 243

草原の叡智

松原正毅[編]

中央アジアはスキタイと匈奴から始まり、突厥やモンゴルなど多様な遊牧民が活躍し、重層の名歴史を織りなした特に重要な舞台であり続けた地である。日本の研究者らが、聞き書き、考古学的発掘、希少文献を渉猟して行った学術研究の成果を提示する。

本体 2,400 円(＋税)・A5 判並製・192 頁・ISBN22709-0・2020 年 3 月刊行



中国学術の東アジア伝播と古代日本 アジア遊学 242

榎本淳一・吉永匡史・河内春人[編]

なぜ、東アジア地域のみが長らく中国文化を共有し続けたのか、中国文化を共有することによつてどのような歴史的意義があったのか。中国大陸に淵源をもつ学術が周辺諸地域に広がり、根付いた諸相をたどり、東アジア文化圏の形成・展開の実態を明らかにする。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・240 頁・ISBN22708-3・2020 年 1 月刊行



源実朝

アジア遊学 241

虚実を越えて

渡部泰明[編]

鎌倉幕府三代将軍、源実朝その生涯でいったい何をし得たのか。また、語りのなかで、人びとは実朝に何を投影してきたのか。歴史・文学・文化などの諸領域からの新知見を示し、日本史上における実朝の位置を明らかにする。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・216 頁・ISBN22707-6・2019 年 12 月刊行



書物学 第16巻 特殊文庫をひらく

古典籍がつながる過去と未来

編集部[編]

国内外に蔵書を誇り、また古典籍の研究機関として名高い、大東急記念文庫、東洋文庫、斯道文庫、金沢文庫、静嘉堂文庫。特定分野の書物をコレクションする図書館「特殊文庫」5館をピックアップし、その魅力・来歴・蔵書を紹介。

本体 1,500 円(＋税)・B5 判並製・96 頁・ISBN20716-0・2019 年 7 月刊行



文化情報学事典

村上征勝[監修]／金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平[監修]

文化現象をデータ・サイエンスで読み解く総合事典。個々の領域で独立に行われてきた文化研究という縦の糸を、データ・サイエンスという理系の横の糸で編みあげる文理融合型のアプローチ「文化情報学」の集大成としての一冊。

本体 18,000 円(＋税)・A5 判上製・850 頁・ISBN20071-0・2019 年 12 月刊行



項目一覧

*項目数…127項目

A 領域篇

[A1 文章・文献]

文学・文献の計量分析／計量文献学／計量文体論／平安朝物語の計量分析／西鶴遺稿集の著者問題／『今昔物語集』の文体／中古和文における個人文体とジャンル文体／現代日本語の計量文体論／現代文におけるジャンル別の文体的特徴／論述文の文体的特徴／個人の文体変化／文体模倣の計量分析／川端康成の代筆疑惑／社会学におけるテキスト分析／ツイッターにおけるテキストの計量分析／SNSにおける計量テキスト分析／法科学分野の文章の計量分析

[A2 言語]

言語／コーパス言語学／書き言葉コーパス／話し言葉コーパス／学習者コーパス／形態素解析／構文解析／シソーラス／文字コード／方言地図とGIS／社会言語学調査／音声処理／言語系統論／機械翻訳

[A3 考古・歴史]

デジタル化時代の考古学・歴史学／考古遺物の数量分類／考古資料のデジタル記録／考古学における年代測定法・同位体分析／元素分析による土器の産地推定／地磁気による考古学的調査／地中レーダーによる遺跡探査／考古学におけるGIS／水中考古学とデジタル技術の利用／自然人類学と歴史研究／災害考古学／全国遺跡報告総覧／古文書に対する文字認識技術／情報考古学／民具資料のデジタルアーカイブ化

[A4 人文地理]

学／計量地理学／地理情報システム／地理空間情報／地理情報科学／歴史GIS／地理人文学／ジオ・ビッグデータ(空間ビッグデータ)／景観分析／記憶地図／空間人文学と文学／デジタル地域学

[A5 文化・芸術]

文化・芸術と文化情報学／絵画／工芸品／服飾文化／無形文化のデジタルアーカイブ／映像・ゲーム・映像アーカイブ／出版文化・書物学／書物学(近代)／電子出版／音楽・音響／美術品／考古資料の3次元計測

[A6 身体文化・行動計量]

身体文化・行動計量／演劇／ダンス／演奏／お笑い／身体性認知／赤ちゃん学／スポーツバイオメカニクス／他者性／共同作業／アフオーダンス／身体性メディア技術／インタラクション

[A7 コンピューター・情報]

コンピューターと文化情報学／ビッグデータ／ソーシャルネットワーク／機械学習／深層学習／音声認識／デジタルミュージアム／情報倫理

B データ分析篇

[B1 データ分析の基礎]

文化情報学の源一数の発見とコンピューター／データの分類法／データの要約一度数分布表・グラフ・統計量／データに基づく推論／推定と検定／多変量解析

[B2 量的分析法]

量的変数と分析手法／量的データからの統計的推測／重回帰分析／新指標作成のための主成分分析／主成分分析の探索的活用／探索的因子分析／因果構造と検証的因子分析／分類と次元縮約のためのクラスター分析・多次元尺度法／テキストマイニングと可視化／潜在トピック分析／イメージマイニングと人工知能／空間統計学／データの欠測値処理

[B3 質的分析法]

質的分析法／離散変数の分布／比率の推定と検定／適合度検定／分割表の解析／対数線形モデル／ロジスティック回帰分析／潜在クラス分析／数量化Ⅰ類・Ⅱ類／数量化Ⅲ類／対応分析／項目反応理論／文化系統学／計量的文明論—林の数量化Ⅲ類の活用

C 分析用ソフト篇

データ解析ソフト／計量テキスト分析のための自由(フリー)ソフトウェア KH Coder／テキスト分析ツール RMeCab／多言語テキスト統計分析ツール MTMineR

●付表 ●索引

自然史・理工系研究データの活用

デジタルアーカイブ・ベシックス3

井上透[監修]／中村覚[責任編集]

オープンサイエンスや研究データなどのトピックスを交えて、高等教育機関、自然史・理工系博物館、研究機関が開発・運用しているデータベースや Web サイトを紹介し、天文学、生物学、地球惑星科学、環境学など、自然科学分野における取り組みを一望。

本体 2,500 円(＋税)・A5 判並製・240 頁・ISBN20283-7・2020 年 4 月刊行



好評書籍のご案内

* 表示価格には別途消費税がかかります。
* ISBN は 978-4-585 を 省略しています。

歴史

鎌倉北条氏人名辞典

菊池紳一〔監修〕／北条氏研究会〔編〕

諸系図に見える北条氏の一族を網羅、婚姻関係・有力被官（家臣）を加えた約 1100 項目を立項。充実の関連資料も附録として具備し、鎌倉時代の政治・経済を主導した鎌倉北条氏の全貌を明らかにする必備のレファレンスツール。

本体 18,000 円（＋税）・A5 判上製・720 頁・ISBN22255-2・2019 年 10 月刊行



北条氏発給文書の研究 附 発給文書目録

北条氏研究会〔編〕

北条氏の発給文書を網羅的に収集・検討し、時政以下、執権をつとめた各代、さらには頼朝、実朝など鎌倉殿の各代について、その足跡を歴史上に位置付ける。歴代の発給文書一覧も具えた、レファレンスツールとして必備の一冊。

本体 15,000 円（＋税）・B5 判上製・624 頁・ISBN22256-9・2019 年 10 月刊行

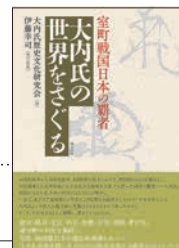


室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる

大内氏歴史文化研究会〔編〕／伊藤幸司〔責任編集著〕

政治・経済・文化・外交・宗教・文学・美術・考古等、諸分野の知見を集結し、室町・戦国期の歴史的展開において大きな足跡を残した大内氏の総体を捉える絶好のガイドブック。

本体 3,800 円（＋税）・A5 判並製・418 頁・ISBN22247-7・2019 年 7 月刊行



戦国期武田氏領の研究 軍役・諸役・文書

柴辻俊六〔著〕

戦国期の武田氏の領国支配の構造はいかなるものであったのか。権力基盤を構成していた家臣団及び在郷の諸階層による軍役・諸役の実態解明、当主発給文書や家臣団による文書の検討など、多面的な視点から、個別研究を総合する視点を提示する。

本体 9,800 円（＋税）・A5 判上製・400 頁・ISBN22248-4・2019 年 8 月刊行



京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝

平成洛陽三十三所観音霊場会・京都府京都文化博物館〔監修〕／長村祥知〔編〕

六角堂を皮切りに、清水寺、泉涌寺、壬生寺中院等々、京都市中の観音信仰の名利をめぐる「洛陽三十三所」。各札所の基礎情報とともに、初公開・初掲載も多数含む寺宝をすべてカラー図版で紹介。充実の解説とコラムも備えた絶好の道先案内書！

本体 2,800 円（＋税）・B5 判並製・272 頁・ISBN21053-5・2019 年 7 月刊行



由緒・偽文書と地域社会 北河内を中心に

馬部隆弘〔著〕

史的シンボルが群立し、「椿井文書」なる偽文書が地域の由緒に大きく関わる北河内地域を中心に、地域の優位性、淵源や来歴を語るために捏造された偽文書や由緒の生成・流布の過程を解明。地域史の再構築をはかり、歴史学と地域社会との対話を模索する。

本体 11,000 円（＋税）・A5 判上製・752 頁・ISBN22231-6・2019 年 2 月刊行



【重版出来】少年写真家の見た明治日本

ミヒャエル・モーザー日本滞在記

宮田奈奈／ペーター・パンツァー〔編〕

オーストリア出身の 16 歳少年写真家ミヒャエル・モーザー自身による日記・書簡類をひもとき、時代を浮かび上がらせる約 130 点の豊富な写真資料と共に彼の見聞した明治初期の世界を浮き彫りにする。

本体 6,500 円（＋税）・A5 判上製・400 頁・ISBN22209-5・2018 年 5 月刊行

重版出来！



近世・近代文書の保存・管理の歴史

佐藤孝之・三村昌司[著]

近世は、幕府や藩、村方、商家等の文書、明治以降の近現代は、公文書や自治体史料などの歴史資料、修復やデジタルアーカイブなどの現代的課題に焦点を当てて、保存・管理システムの実態と特質を解明。

本体4,500円(+税)・A5判並製・352頁・ISBN22253-8・2019年10月刊行



パブリック・ヒストリー入門 開かれた歴史学への挑戦

菅豊・北條勝貴[編]

歴史学や社会学、文化人類学のみならず、文化財レスキューや映画製作等、さまざまな歴史実践の現場より、歴史を考え、歴史を生きる営みを紹介。パブリック・ヒストリーを考えるための日本初の概説書！

本体4,800円(+税)・A5判並製・512頁・ISBN22254-5・2019年10月刊行



古文書料紙論叢

湯山賢一[編]

歴史学・文化財学の最前線に立つ43名の執筆者の知見から、現存資料の歴史的・科学的分析や料紙に残された痕跡、諸史料にみえる表現との対話により、古代から近世における古文書料紙とその機能の変遷を明らかにする。

本体17,000円(+税)・B5判上製・896頁・ISBN22184-5・2017年6月刊行



日本の文化財 守り、伝えていくための理念と実践

池田寿[著]

文化財はいかなる理念と思いのなかで残されてきたのか、また、その実践はいかなるものであったのか。長年、文化財行政の最前線にあった著者の知見から、文化国家における文化財保護のあるべき姿を示す。

本体3,200円(+税)・四六判並製・352頁・ISBN20064-2・2019年3月刊行



紙の日本史 古典と絵巻物が伝える文化遺産

池田寿[著]

長年文化財を取り扱ってきた最先端の現場での知見を活かし、さまざまな古典作品や絵巻物をひもときながら、文化の源泉としての紙の実像、そして、それに向き合ってきた人びとの営みを探る。

本体2,400円(+税)・四六判並製・288頁・ISBN22176-0・2017年6月刊行

重版出来！



書籍文化史料論

鈴木俊幸[著]

チラシやハガキ、版權や価格、貸借に関する文書の断片など、人々の営為の痕跡から、日本の書籍文化の展開を鮮やかに浮かび上がらせた画期的史料論。京都書林仲間の実態を伝える新出史料全篇の翻刻・影印を収載！

本体10,000円(+税)・A5判上製・480頁・ISBN22240-8・2019年5月刊行



明治の教養 変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉

鈴木健一[編]

社会の基盤をなす「知」は、いかに変容していったか。和・漢・洋が並び立ち、混じり合いながら形成された、近代以降、現代まで続く教養体系の淵源を探る。

本体7,500円(+税)・A5判上製・368頁・ISBN29193-0・2020年1月刊行



新刊書籍一覧 注文書

No.	ISBN	書名	編著者	出版年	本体価	割引価格	注文数
◆最新刊							
1	22288-0	金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集	永井晋 編	2020/9	10,000	8,800	
2	22718-2	アジア遊学 252 中世日本の茶と文化	永井晋 編	2020/9	2,800	2,500	
3	22292-7	挑発する軍記	大津雄一 著	2020/10	3,800	3,300	
4	22290-3	生きるための地域史—東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志 編著	2020/10	8,000	7,000	
5	20076-5	江戸庶民のまじない集覧—創意工夫による生き方の智慧	長友千代治 著	2020/10	6,000	5,300	
6	22291-0	吉田松陰と学人たち	徳田武 著	2020/9	10,000	8,800	
7	22285-9	新彰義隊戦史	大蔵八郎 編	2020/9	7,000	6,200	
8	22286-6	ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子 監修／ 牧野元紀 編	2020/8	3,800	3,300	
9	22513-3	ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ 現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ 2	石田勇治・川喜田敦子 編	2020/9	6,000	5,300	
10	22514-0	ドイツ市民社会の史的展開 現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ 3	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史 編	2020/9	6,000	5,300	
11	22719-9	アジア遊学 253 ポストコロナ時代の東アジア—新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平 編	2020/9	2,800	2,500	
12	22717-5	アジア遊学 251 仏教の東漸と西漸	荒見泰史 編	2020/9	2,800	2,500	
13	22716-8	アジア遊学 250 酔いの文化史—儀礼から病まで	伊藤信博 編	2020/8	2,800	2,500	
14	20075-8	司書のお仕事 2—本との出会いを届けます	大橋崇行 著／小木曾真貴 監修	2020/10	1,800	1,600	
15	21056-6	儒教儀礼と近世日本社会—閩齋学派の『家礼』実践	松川雅信 著	2020/7	10,000	8,800	
16	22715-1	アジア遊学 249 漢学とは何か—漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城 編	2020/7	2,800	2,500	
17	22279-8	古代の日本と東アジア—人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/7	10,000	8,800	
18	22278-1	新羅中古期の史的研究	武田幸男 著	2020/7	12,000	10,600	
19	22276-7	近世大名墓の考古学—東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/6	12,000	10,600	
20	22069-5	宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著	2020/6	4,500	4,000	
21	20718-4	書物学 第18巻 蔵書はめぐる—海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/7	1,800	1,600	
◆新刊							
22	22272-9	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編／国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	7,800	6,900	
23	20073-4	日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	7,000	6,200	
24	22268-2	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	17,000	15,000	
25	22416-7	古文書研究 第89号	日本古文書学会 編	2020/6	3,800	3,300	
26	22257-6	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	10,000	8,800	
27	22266-8	日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	6,000	5,300	
28	22265-1	近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容—北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/2	10,000	8,800	
29	22267-5	近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス 編	2020/2	7,000	6,200	
30	22269-9	江戸日本橋商人の記録—〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	11,000	9,700	
31	22261-3	甦る「豊後切支丹史料」—バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	12,000	10,600	
32	29197-8	琉球船漂着者の「聞書」世界—『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	10,000	8,800	
33	22275-0	スイス使節団が見た幕末の日本—ブレンワルド日記 1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記研究会 編	2020/6	9,800	8,600	
34	29196-1	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	10,000	8,800	
35	22263-7	渋沢敬三とアチック・ミュージアム—知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治 著	2020/1	3,500	3,100	
36	22264-4	荒れ野の六十年—東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤 著	2020/1	3,200	2,800	
37	27055-3	日本画の所在—東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	6,500	5,700	
38	22262-0	描かれたマカオ—オーダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 編	2020/4	22,000	19,400	

39	21054-2	メディアのなかの仏教―近現代の仏教的人間像	森 覚 編	2020/5	7,500	6,600	
40	21055-9	上海におけるプロテスタント―現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保 著	2020/5	6,000	5,300	
41	23081-6	「本読み」の民俗誌―交叉する文字と語り	川島秀一 著	2020/6	3,500	3,100	
42	20072-7	医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	12,000	10,600	
43	22714-4	アジア遊学 248 明治が歴史になったとき―史学史としての大久保利謙	佐藤雄基 編	2020/6	2,800	2,500	
44	22713-7	アジア遊学 247 移動するメディアとプロパガンダ―日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代 編	2020/4	2,800	2,500	
45	22712-0	アジア遊学 246 和漢のコードと自然表象―十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	2,800	2,500	
46	22711-3	アジア遊学 245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	2,800	2,500	
47	22710-6	アジア遊学 244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	2020/3	3,200	2,800	
48	22709-0	アジア遊学 243 中央アジアの歴史と現在―草原の叡智	松原正毅 編	2020/3	2,400	2,100	
49	22708-3	アジア遊学 242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	2,800	2,500	
50	22707-6	アジア遊学 241 源実朝―虚実を越えて	渡部泰明 編	2019/12	2,800	2,500	
51	20716-0	書物学 第16巻 特殊文庫をひらく―古典籍がつなぐ過去と未来	編集部 編	2019/7	1,500	1,300	
52	20071-0	文化情報学事典	村上征勝 監修	2019/12	18,000	15,800	
53	20283-7	デジタルアーカイブ・ペーシックス3 自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村 覚 責任編集	2020/4	2,500	2,200	
◆好評書籍							
54	22255-2	鎌倉北条氏人名辞典	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2019/10	18,000	15,800	
55	22256-9	北条氏発給文書の研究 附 発給文書目録	北条氏研究会 編	2019/10	15,000	13,200	
56	22247-7	室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる	大内氏歴史文化研究会 編／伊藤幸司 責任編集	2019/7	3,800	3,300	
57	22248-4	戦国期武田氏領の研究―軍役・諸役・文書	柴辻俊六 著	2019/8	9,800	8,600	
58	21053-5	京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝	平成洛陽三十三所観音霊場会・京都府京都文化博物館 監修／長村祥知 編	2019/7	2,800	2,500	
59	22231-6	由緒・偽文書と地域社会―北河内を中心に	馬部隆弘 著	2019/2	11,000	9,700	
60	22209-5	少年写真家の見た明治日本―ミハエル・モーザー日本滞在記	宮田奈奈／ペーター・パンツァー 編	2018/5	6,500	5,700	
61	22253-8	近世・近現代 文書の保存・管理の歴史	佐藤孝之・三村昌司 編	2019/10	4,500	4,000	
62	22254-5	パブリック・ヒストリー入門―開かれた歴史学への挑戦	菅豊・北條勝貴 編	2019/10	4,800	4,200	
63	22184-5	古文書料紙論叢	湯山賢一 編	2017/6	17,000	15,000	
64	20064-2	日本の文化財―守り、伝えていくための理念と実践	池田寿 著	2019/3	3,200	2,800	
65	22176-0	紙の日本史―古典と絵巻物が伝える文化遺産	池田寿 著	2017/06	2,400	2,100	
66	22240-8	書籍文化史料論	鈴木俊幸 著	2019/05	10,000	8,800	
67	29193-0	明治の教養―変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一 編	2020/1	7,500	6,600	

お申し込みは
Web Site●<https://bensei.jp>
FAX●03-5215-9025
E-mail●info@bensei.jp

勉誠出版
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-10-2
TEL 03-5215-9021

ご氏名	備考欄 *公費・私費の区別をお知らせください *公費の場合には、必要書類・宛名・日付の有無をお書きください
ご住所	
電話番号	